

親父

中野
劇団

親父

作・中野 守（中野劇団）

登場人物

親父

娘

ファミレス。女が父親と向かい合って座っている。女、ちょっと引いている。親父、食べながら。

親父 悪いな。急に呼び出して。

娘 ううん……。

親父 大丈夫？ 忙しいんじゃないの？

娘 今、昼休みだから。それは別に。……え？ どうしたの？ お父さん。

親父 いや。ちょっと近くまで来たから。

どうも娘と一緒に暮らしていない風な親父。

娘 ああ、そうなんだ？ ……お父さんから携帯かかってきてびっくりした。

親父 俺もかけた時ドキドキしたよ。

娘 私もお父さんから着信あって、びっくりしちゃった、お父さん、先週死んだのに（焦笑）。

親父 ……。

娘 先週死んだよね？

小刻みに頷く親父。

娘 先週お葬式やったよ？

親父 （小刻みに頷き）。喪主やってくれたんだってな。

娘 鼻に白いの詰めてたよ？

親父 （小刻みに頷き） あれは取った。

娘 初七日も済ませたよ？

親父 最近、その日にやるとこ多いんだな？

娘 え？ うん。……え？ 何で生きてるの？

親父 え？ 死んでるよ？

娘 どういうこと？ お父さんだよな？ それは間違いないよね？

親父 うん。

娘 そっか。……お父さん、幽霊なの？

親父 (食べ物を吹き零す) おまえ、その歳になって幽霊とか信じてるのか。

娘 じゃあ何なの？

親父 だから死体だよ。

娘 お父さん、死体なの？

親父 (周囲を気にして) 声が大きだよ。……死体っていうか、遺体だな。身元がわからない場合は死体で、身元がわかってる場合は遺体なんだよ。

娘 だって、焼いたよ？ ……骨も拾ったよ？ これが喉仏ですとかってやったよ？
親父 違う人のだろ。すいません、お水。

娘 ……違う人って何？

親父 わからないけどさ。どっかで入れ替わったんじゃないかな。窯かどっかで。

娘 ええ？ 大問題になるよ？

親父 窯に入れる時の勢が強すぎて反対側からバンて出て来たんじゃないかな。

娘 聞いたことないよ、そんなことってあるの？

親父 ま、そんな話はどうでもいいか。

娘 あんまりよくないよ。ええ？ ホントに死んでるの？

親父 声でかいよ。……みんな「え？」ってなるだろ。

娘 私はいいの？ 死んでるのに、何で動いてるの？

親父 コツがあって。

娘 コツなの？ コツで動けるの？

親父 でもそんなに変わらないよ？ 死んでるってだけで。

娘 ……死んでるってだけで。

親父 うん。

娘 死んでるってだけで。

親父

うん。……だって別に神経が切れてるわけじゃないし。取り敢えず今のところは。この先はわかんないけど。いろいろ腐って来ると思うし。……って食事中にする話じゃないな。……こないだ市役所行ったんだけどさ。市役所の奴らってさ――

娘

待って待って。何しに？

親父

……書類出しに？

娘

何の？

親父

死亡届。

娘

ええ？

親父

母さん、出すの忘れてたみたいだったから。

娘

市役所の人にもお父さんのこと見えてたの？

親父

うん。でさ「ご遺族の方ですか」って聞かれたから、本人ですって。……そしてら受け取ってくれねえの。

娘

ええ？ それは「本人じゃ駄目つすよお」とかって言われたってこと？

親父

あいつらホントお役人だよな。

娘

ええ？ そんな普通に対応されたの？ もしかして、死亡届受理されてないから、

成仏できてないってこと？

親父 ……何言ってるの？

娘 あ、ううん、今のは忘れて。

親父 ……魂は成仏したよ。

娘 ……そうなの？ 魂は成仏してるの？ その状態は。

親父 多分な。

娘 そうなんだ。魂はここにはいないの？

親父 よくわかんないけど。 え、何？

娘 じゃあ、そのお父さんの死体を動かしてるのは何なのかなって。

親父 信念かな。……死体を動かしたい、みたいな。……やっぱ死んでるからキレがないわ。

さりげなく蠅を払う親父。

娘 ねえ、お母さんは知ってるの？ お父さんがこんな風になってるって。

親父 いや。

娘 言わなくていいの？

親父

いいよ。煩いだろ。

娘

ええ？ 煩いだろって、そんな感じでいいの？

親父

まだいいよう。

娘

ええ？ お母さんやつれちゃって可哀想だよ。

親父、死んだようになってる。

娘

お父さん？ お父……。

親父、何もなかったように意識が戻る。フライング気味に立ち上がって恥ずかしい娘。

親父

……死ぬ瞬間って今までのことが走馬燈のように蘇るって言うだろ。

娘

え？

親父

走馬燈って知ってるか？ 葬式の時に見かけるあれだ。水色の、こう回る……。

娘

知ってるけど。

親父

死ぬ瞬間、今までに見た走馬燈が走馬燈のように現れてな。

ちよつと泣いている感じの親父。

娘 何が言いたいの？ 何で私のこと呼び出したの？

親父 これからどうしたらええかなって。相談に乗ってもらおうと思って。

娘 は？

親父 お金もないし。

娘 全然ないの？

親父 うん。ここの分も。

娘 「めっちゃ食べてるじゃない。……お母さんにもだけどき、お葬式に来てくれた人に、

ちゃんと説明した方がいいんじゃない？

親父 え？

娘 お香典とか貰ったわけだしさ。

親父 いやあ、でも恥ずかしいから。

娘 「恥ずかしい」とかじゃないじゃない。

親父 だって、何って言うんだよ。

娘

だから、「わざわざお葬式に来てもらったのにね、こんな感じになってしまつて、何かすいません」みたいなさ。

親父

一人ひとりに？

娘

そりゃそうだよ。

親父

ええ？ そんな、気の遠くなる……。

娘

ちゃんとしなきゃ駄目だって。

白目を剥いて動かない親父。椅子から転げ落ちる。

娘

（ヒソ）ちょっと、お父さん!? 何ホントに気が遠くなつてゐるの。ちょっと! やだ、こんな所で死なないでよ! おーい! おーい! （他の客に）大丈夫です。お父さん。外出よ? ねえ。

終わり。